

第137回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年8月31日(水) 9:45~9:55	場所	Web
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、加藤市民課長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、堤企画政策課長、宮奈地域安全課長、伊藤福祉会館等担当課長、石原健康課長、廣田広報秘書課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 各部連絡事項			
資料	1 新型コロナウイルス感染症対策における連携した取組について(依頼) 2 市内介護事業所における新型コロナウイルス感染症の陽性反応者の判明について(令和4年8月30日更新)			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の感染者数は減少傾向にあるものの、依然として1日100人前後の新規感染者が発生し、自宅療養者も1,181人となっている。市としては、ワクチン希望者へのワクチン接種等の感染症対策を引き続き取り組んでいく。 ・ワクチンの4回目接種率は、現時点で70%を超えている。集団接種会場において、モデルナワクチンは予約なしで受けている。また、オミクロン対応ワクチンの接種も開始となることから、全力をあげて進めていく。 ・医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションと共同で行ってきた「ワクチン連絡会」については、「新型コロナウイルス感染症対策会議」と名称を変更し、9月16日に開催予定である。 ・市内の感染者数については、第7波の影響でこの2か月増加している。各課においては、これまでの協力体制に感謝申し上げるとともに、引き続き健康管理に努めていただきたい。 <p>1 各部連絡事項</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、福祉保健部の新福祉会館等担当課長が応援でワクチン業務についている。接種会場の対応も行っている。 ・健康課への職員の応援体制について…コロナ対策に係る事業の開始及び推進のため、9月に自立生活支援課から、10月に介護福祉課から各1名応援職員が派遣される。 ・市内におけるコロナ感染症対策への呼びかけについて…9月に入ると人流がさらに増えることから、別紙資料のとおり、感染症対策への呼びかけを行うよう東京都から依頼が来ている。 ・市内介護事業所における新型コロナウイルス陽性反応者の判明について…別紙資料のとおりの内容で、市のホームページに公表した。 ・新型コロナウイルスワクチンの接種券の誤発送について…正しい接種券に加えて、他人の 				

接種券を同封して送付した事例が1件あった。本件については、プレス及び議会への報告が済んでいる。

【福祉保健部長】

・オミクロン対応ワクチンについて、報道等によると、18歳以上で既に2回以上コロナワクチンを接種した人が対象となっている。

【庁舎建設等担当部長】

・従来のワクチンとオミクロン対応ワクチンとの関連性について教えていただきたい。オミクロン対応ワクチンを接種すれば、従来ワクチンの3～4回目を接種しなくてもよいか？

【福祉保健部長】

・オミクロン対応ワクチンは、従来ワクチンの2回目を完了している方が対象。医療従事者の見解では、しっかりとした効果を得るため、3～4回目接種をしたうえでオミクロン対応ワクチンを接種したほうがよいとのこと。

【市長】

・3～4回目ワクチン接種の意義は、コロナの重症化予防であり、厚生労働省のQAにも、3～4回目を接種をするよう記載されている。

ただし、従来のワクチンを1回も接種していない人は、オミクロン対応ワクチンの対象外となるため、市長会を通して初回接種の人からオミクロン対応ワクチンを打てるよう要望する予定。

【総務部長】

・庁内職員の感染状況について、7月は64名、8月は8月30日の時点で58名である。引き続き感染予防の徹底と職員の健康管理に留意を願いたい。

【市長】小中学校で新学期が始まる。教職員においては、引き続き感染症対策に留意しながら対応を願いたい。

【教育長】感染症対策について、各学校に改めて通知を发出する。

(以上)